

カーボンニュートラル達成に貢献する 大学等コアリションへの参画

人類の経済的発展と人口増加に伴う化石燃料の消費が大気の温室効果ガス濃度を増加させ、それが地球温暖化と気候変動を生じていることが明らかになっています。気候変動は、自然生態系や水環境、農林水産業、都市生活などの多様な分野に複雑に影響します。最近のIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の報告によれば、近い将来に地球の平均気温は産業革命以前に比べて1.5℃上昇し、環境リスクが増大することが懸念されています。気候変動の緩和と適応の推進は、世代を越えて取り組まなければならない人類共通の課題です。

カーボンニュートラルの実現などの気候変動対策

は、自然環境を生存基盤とする人類の存続の危機に関わる課題です。教育・研究・社会貢献活動を通じた国や地域との連携により、この重要な課題に取り組むことが、「総合知」を持つ大学にも期待されています。

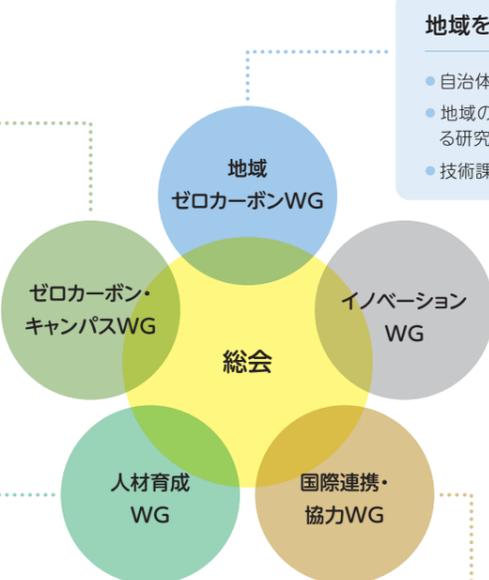
2021年7月に「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」が文部科学省、環境省、経済産業省および全国の180以上の教育・研究機関によって設立され、全国の大学や研究機関が連携してキャンパスのゼロカーボン化、地域のゼロカーボン化、さらに、カーボンニュートラルを進めるためのイノベーション、人材育成、国際連携を推進することになりました。

キャンパスを ゼロカーボン化する

- 大学の形態・特性に応じた脱炭素化モデルの構築と横展開
- WG全参加大学による方針とロードマップ等の策定
- 国際的枠組み(Race to Zero等)への参画の推進

カーボンニュートラル人材を 育成する

- カーボンニュートラル人材の在り方、必要な要素等の検討
- 大学間連携による共同教育プログラムや教材等の創設
- 企業、自治体、大学等間の人材交流の推進



地域をゼロカーボン化する

- 自治体ネットワーク等と連携した、取組と成果共有
- 地域の計画・シナリオ策定に役立つ知見を創出する研究グループの創設
- 技術課題・制度的課題等の抽出ととりまとめ

研究開発と社会実装の推進 のため産学官民連携を強化する

- カーボンニュートラルを共通の目標とする新たな産学官民連携枠組みの創設
- 新たな技術や価値観、行動様式創出のための人文・社会科学から自然科学までの研究者等が議論する場等の創設の検討

日本と世界を つなぐ

- 米国・欧州等の大学ネットワーク等との連携
- 新規開拓分野(地域の社会変革のための分野横断的研究、デジタル×グリーン等)の研究者交流の推進
- 国際連携による教育プログラムの研究・創設

東海国立大学機構
カーボンニュートラル推進室 室長
名古屋大学 環境学研究所 教授

にしざわ やすひこ
西澤 泰彦



東海国立大学機構
カーボンニュートラル推進室 副室長
岐阜大学 流域圏科学研究センター 教授

むらおか ひろゆき
村岡 裕由



東海国立大学機構では、コアリションへの参画と積極的な貢献を推進することと、東海国立大学機構としての「カーボンニュートラル推進戦略」の企画立案を主なミッションとして、2021年11月に「カーボンニュートラル推進室」を設立しました。また推進室の活動を支えることも念頭に、名古屋大学には「未来社会創造機構 脱炭素社会創造センター」が、岐阜大学には「高等研究院 脱炭素・環境エネルギー研究連携支援センター」が設立されました。

東海国立大学機構では「2030年に温室効果ガスを51%（2013年比）以上削減し、2050年までのできるだけ早い時期にカーボンニュートラル実現」という目標を立てました。この目標を掲げながら、幹事機関として参加する地域ゼロカーボンWGとイノベーションWGでは、東海国立大学機構のスタートアップビジョンである「東海地域の好循環モデル（TOKAI-PRACTISS）」に基づいた活動を進めます。地域におけるゼロカーボン実現のための大学・自治体・企業・市民

などの連携の姿を地域のゼロカーボンWGで、同時に東海国立大学機構のスタートアップビジョンのひとつであるTOKAI-PRACTISS が示す新たな産学連携による社会実装の姿をイノベーションWGで示していきます。また、キャンパスのゼロカーボンWGでは総合大学のキャンパスにおけるゼロカーボン実現シナリオの提案、人材育成WGでは岐阜大学および名古屋大学が進める環境人材育成のさまざまな取組の推進、国際連携・協力WGでは名古屋大学が進めてきた国際連携・協力の実績を示していく予定です。これらを通して、東海国立大学機構として、コアリションの成功に貢献するとともに、将来のカーボンニュートラル推進戦略につながる他大学等との情報連携、ネットワーク構築を行います。

東海国立大学機構を地域のハブとしてカーボンニュートラルを実現し、気候変動リスクを抑制し、自然環境と共生した持続可能な社会を構築するために、学生や教職員の皆さんの協力をお願いします。



東海国立
大学機構

カーボンニュートラル推進室

(2021年11月1日設立)

ミッション

- 東海国立大学機構CN活動の司令塔
- CNコアリション活動の具体的対応・総会、WG活動、幹事大学としての活動

東海国立大学機構の目標

2030年に温室効果ガスを51%（2013年比）以上削減し、2050年までのできるだけ早い時期にカーボンニュートラル実現

岐阜大学カーボンニュートラルロードマップ

名古屋大学キャンパスRE100^{*}シナリオ

*RE100: Renewable Energy 100% (再生可能エネルギー100%)の略称

「機構CN推進戦略」の企画立案

- キャンパスのゼロ・カーボン／ゼロ・エミッション推進
- 脱炭素社会・環境共生社会創造推進(教育・研究)



岐阜大学
GIFU UNIVERSITY

(2021年11月1日設立)

高等研究院 脱炭素・環境エネルギー研究連携支援センター

高等研究院地域環境変動適応研究センター、高等研究院地方創生エネルギーシステム研究センター、流域圏科学研究センター、地域協働センター、岐阜大学環境対策室等が連携して活動



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

(2022年4月1日設立)

未来社会創造機構脱炭素社会創造センター

アジア共創教育研究機構／未来材料システム研究所／ITbM／施設・環境計画推進室／フューチャー・アース研究センター、各研究科(国際・工・農・環境)が連携して活動

▶ カーボンニュートラル推進室

https://www.thers.ac.jp/about/org/carbon_neutrality/carbon_neutrality.html

▶ 脱炭素・環境エネルギー研究連携支援センター

https://www1.gifu-u.ac.jp/gu_cnee/index.html

▶ 未来社会創造機構脱炭素社会創造センター

<http://www.mirai.nagoya-u.ac.jp/organization/carbon-neutral.html>

▶ 大学等コアリション

<https://uccn2050.jp/>

▶ 大学等コアリションワーキンググループ

<https://uccn2050.jp/working-group/>

8

ENVIRONMENTAL REPORT 2022

9

ENVIRONMENTAL REPORT 2022